



25 大江橋・淀屋橋

現在の橋は1935(昭和10)年、当時では珍しく公募デザインを経て架けられた双子の橋。長さは違うが同じ見た目、バルコニーや親柱の威厳ある雰囲気は、1921(大正10)年に竣工した大阪市役所(当時)の建物と調和するようにデザインされた。大阪の橋の中で屈指の交通量を誇る大スター橋。いずれも重要文化財。
▶西天満 2~中之島 1



報道クルーがよく出張

26 堂島米市場跡碑「一粒の米」

先物取引の世界的先駆けである「堂島米市場」を象徴する巨大な米粒が、建築家・安藤忠雄のデザイン協力のもと2018年にお目見え。米市場は江戸時代の豪商・淀屋が土佐堀川沿いの北浜で始めた米取引を起源とし、1697(元禄10)年には堂島新地に移された。司馬遼太郎の作品『俄(にわか)』にも登場する。
▶堂島浜 1-3 中之島ガーデンブリッジ北東詰

24 堂島ビルディング

東京に「丸ビル」が誕生したのと同じ1923(大正12)年竣工。地上9階、地下1階、大阪で本格的なオフィスビル時代の幕開けとなったビル。重厚かつクラシックな造りで、開業当初から多くのテナントが入居できるようにと部屋はコンパクトに区切られ、法律事務所から新聞社、出版社、広告代理店、IT企業、コンサルタント、クリニック、画廊、喫茶店、インテリアショールームなどが入る。御堂筋に面した西側の外壁は、築100年近いとは思えぬほどモダンだ。ビル東側の道が微妙にカーブしているのは、そこがかつての蜷川(しじみがわ)であったことを物語る。山崎豊子『白い巨塔』の「浪速大学病院」の位置はこの場所であり、小出楢重の名画『街景』はこの高層階からの景色……など、名作にもゆかりが深い。2019年から「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」にも参加。6階の金庫室などが公開されている。
▶西天満 2-6-8



青空と雲が鮮やかに映し出されるガラス張りの西側外壁

22 水晶橋

もとの名称は「堂島川可動堰(かどうせき)」。大阪市内の河川を浄化するダムとして昭和初期に設けられ、役割を終えたのちに人道橋になった。夜には照明灯が水面に映し出され、大江橋や鉾流橋から見るとひと際美しい。その様子から水晶との愛称になったという説と「水都大阪の繁昌(晶)」からの説もあり。
▶西天満 2~中之島 1

23 大江ビルディング

ルネサンス様式や新古典主義建築など、西洋の建築様式が混在するユニークな建物。法律家向けのテナントとして大正時代に建てられ、2021年で竣工100年を迎える。地下に食堂や理髪店、1階ホールにはビリヤード台やバーカウンターを備えていた。今は1階に美術専門書店やブティックなどが入居し、一歩足を踏み入ると昔にタイムスリップしたような感覚になれる。
▶西天満 2-8-1

20 大阪市立東洋陶磁美術館

静寂を好む大人のための美術館。東洋陶磁の世界的コレクション「安宅コレクション」の名品をはじめとする国宝・重要文化財を含め韓国陶磁や中国陶磁などを展示する。
▶中之島 1-1-26 ☎06-6223-0055
9:30~17:00(最終入館16:30) 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替え期間は休館 観覧料: 観覧会ごとに異なる

21 中之島 LOVE CENTRAL

2013年に空間デザイナーの間宮吉彦さんが設計した複合施設。DREAMS COME TRUEのプロデュースで話題を集めたイタリアンレストランをはじめ、BBQラウンジ、バンケットルームなどが入る。クルージングとともにコース料理やBBQが楽しめるリバークルーズも人気。高速道路の真下に建物があるので、雨の日でも安心して快適に過ごすことができる。
▶西天満 2-1-18 ☎06-6362-1000

16 中之島公園・中之島バラ園

超高層ビルがひしめく中之島にあって、空の広さを感じ、土佐堀川・堂島川の水面を間近に体感できるエリア。交通量の多い難波橋、天神橋の間にあるが、クルマは入れない。見頃は毎年初夏と秋。大阪市の職員が手入れを怠らず、310品種・3,700株のバラを、美しく配置された花壇に咲かせる。圧巻は「ばらその橋」。西側を見れば華やかなバラ園と重厚な難波橋とのコントラストが素晴らしい。橋の東側は、平日でもレジャーシートでランチやお昼寝、ヨガを楽しむ姿が見える芝生広場が天神橋まで広がる。
▶中之島 1-1

17 天神橋

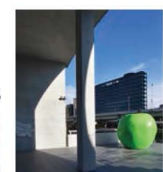
難波橋、天満橋とともに「浪華三大橋」と称される名橋。1594(文禄3)年頃に架けられた歴史ある橋で、大阪天満宮が管理したことから天神の名が付いた。夏には橋の上に夜店が並び、夕涼みをする人たちが集まる憩いの場でもあった。1934(昭和9)年に架け替えられた現在の橋は、大川と土佐堀川をまたいで水平を描くアーチが魅力的。
▶北区天神橋 1

18 難波橋(ライオン橋)

南北両側で阿吽(あうん)のライオン像が見守る名橋。幕府が管理した公儀橋の一つであり、現在の姿になったのは1915(大正4)年。市章である湊つくしのモチーフをはじめ華麗な装飾が随所に見られ、なんといっても中之島公園へと続くアプローチが美しい。
▶西天満 1-1

19 こども本の森 中之島

大阪市が2020年7月に開館した、子どもの豊かな感性を育てる図書施設。建築家・安藤忠雄さんが設計した建物内は3フロア分すべてが本棚。「自然とあそぼう」「動物が好きな人へ」など12テーマにわけた本が壁一面に並び、子どもたちの好奇心をくすぐる仕掛けもたくさん! 絵本を通じて、子どもたちの成長を見守る温かい存在になりたい」と館長。絵本や季節のイベントも随時開催予定。ゆるやかに時間が流れる癒やしの空間にリピーターが絶えない。
▶中之島 1-1-28
☎06-6204-0808
9:30~17:00(毎月1日と15日にHPより事前予約、毎週水曜15:30~の回は先着順) 月曜(祝日の場合は翌日)、ほか年末年始、蔵書整理期間は休館 入館無料



エントランスポーチにある青リンゴのオブジェ「永遠の青春」

NISHITEMMA / NAKANOSHIMAEAST AREA 西天満・中之島「東エリア」

水都大阪のシンボルの景観が広がる堂島川沿い。街の歴史と西洋文化が交差する名だたる橋や建築の合間に、その系譜を受け継ぐ文化・商業施設が集結。北岸の川沿いにも遊歩道が整備され、訪れるたびに新しい発見ができる。

最近「北岸」も楽しい堂島川沿い

AREA MAP

